



ベルト式無段変速機 PSGモデル

取扱説明書ご利用の前に

☆本製品は、標準品の「プーリ部」と「ユニット形状」の組合せで構成されている製品です。

プーリ部・ユニット形状をご確認いただき以下の取扱説明書を確認して頂きますようお願いいたします。

※取扱説明書の製品名が異なりますが、代用可能となっております。あらかじめご了承ください。

☆製品を正しくご使用いただくために必ずお読みいただき、保管願います。

☆ご注文の製品か、製品に破損がないかをご確認ください。

※プーリ部については「P/AP/PL/PK/PF」の取扱説明書をご確認ください。

※ユニット形状については「PDS シリーズ PDC 型・PDG 型」の取扱説明書をご確認ください。

三木プーリ株式会社

<http://www.mikipulley.co.jp/>

お問い合わせは、弊社ホームページ、下記のフリーアクセス、お近くの弊社支店・営業所へご連絡ください。
TEL 0800-800-1311 (フリーアクセス)



ベルト式無段変速機 単体

P / AP / PL / PK / PF

取扱説明書

☆本取扱説明書はご購入後の標準仕様製品の「取り付け」「取り外し」とそれに関連する「注意事項」を主に記載していますので、製品の仕様・性能などは事前にホームページや最新の製品カタログでご確認願います。

☆製品を正しくご使用いただくために必ずお読みいただき、保管願います。

☆ご注文の製品か、製品に破損がないかをご確認ください。

目次

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 構造と名称 | 3-2. 取り付け(PL・PK・PF型) |
| 2-1. 安全上の注意事項 | 4. ベルト走行線の合わせ方 |
| 2-2. 製品仕様の注意事項 | 5. 操作・運転 |
| 2-3. 取り付け前の注意事項 | 6. 保守・点検 |
| 3-1. 取り付け(P・AP型) | 7. 簡易自己診断 |

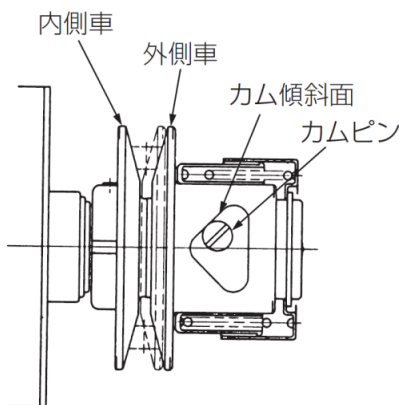
1. 構造と名称

内側車と外側車の組み合わせにおいて、図のようなカムピンによる「カム機構装備のP型」とそれ以外の「カム機構が無いキー方式」があります。

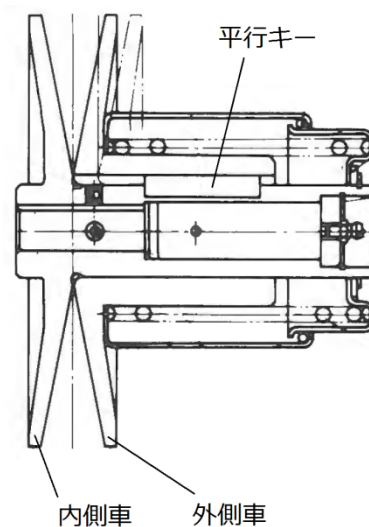
外側車(移動車)はスプリングで押されています。

P型のカム機構はスプリングだけでは負荷変動に対応しきれないときに、回転ムラを防ぐために設けられています。

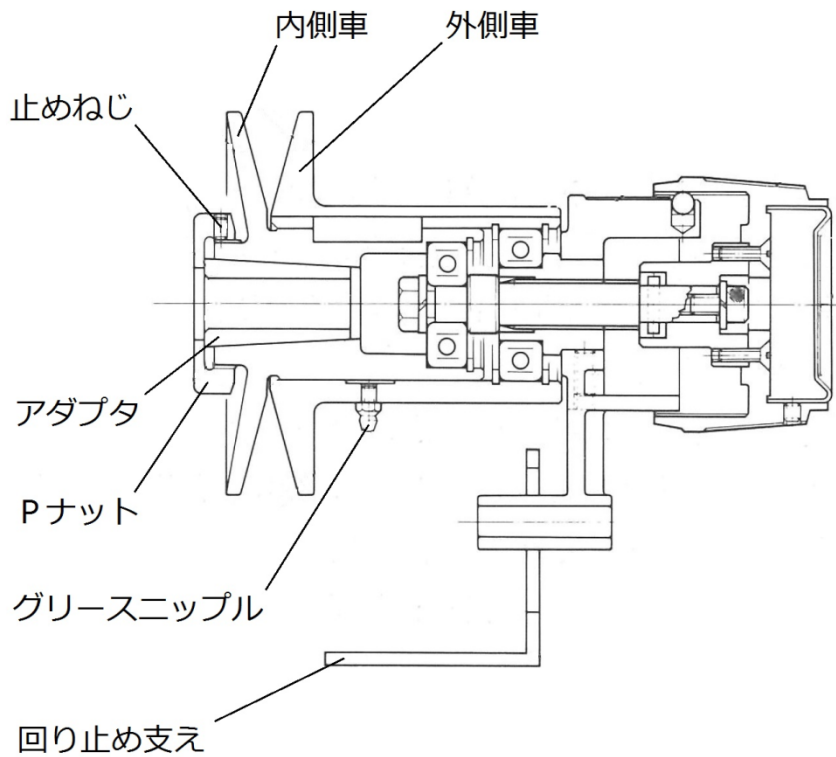
キー方式は強力なスプリングを装備しており、衝撃荷重や正逆・繰り返し運転などによる負荷変動をスプリングとベルトで吸収する仕組みとなっています。



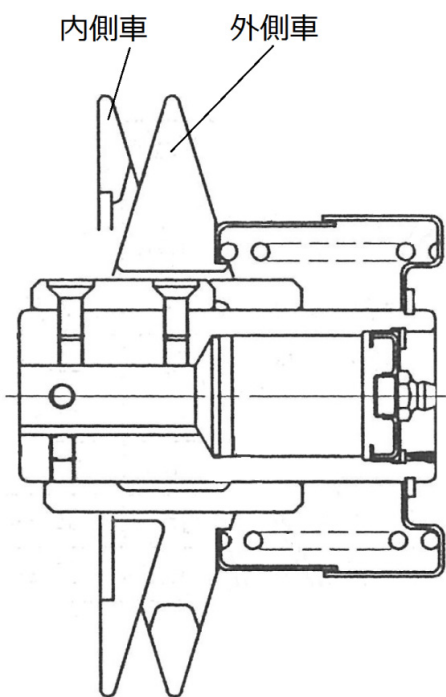
P型(カム機構装備)



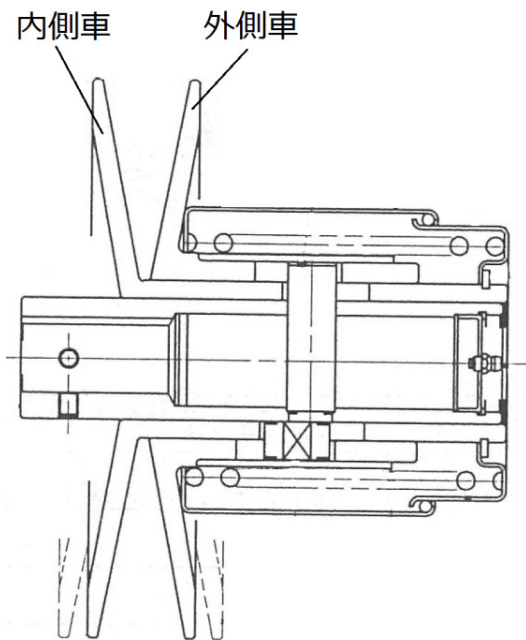
PK型(カム機構が無いキー方式)



AP型



PL型





PF型(カム機構が無いキー方式)




2-1. 安全上の注意事項

使用者への危害や損害を未然に防ぐため、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分し、警告図記号で取り扱いの行為について具体的に表示しておりますので必ずお守りください。





【安全注意事項のランク】

 危険	使用者が取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い場合を示します。
 注意	使用者が取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される場合を示します。





【警告図記号の説明】

 禁止	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示します。
 注意	製品の取り扱いにおいて、注意を喚起することを示します。
 指示	製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制することを示します。



危険



	製品の取り付けや保守・点検をするときは装置の電源を絶対に入れないでください。 作業中に誤って電源が入ると急に駆動部が回転するので、接触や巻き込まれて大きな事故の原因となります。		緊急時に急停止させる機構を設置してください。 回転中に製品が破損した場合に、急停止させないと製品が飛散もしくは落下して大きな事故の原因となります。
	引火性の雰囲気では使用しないでください。 動作中の機械や製品から火花が生じ、引火して爆発する恐れがあります。特に油脂や可燃性ガスなどの雰囲気は、起こりやすくなります。		必ず保護カバーを設置してください。 回転中に製品や機械の回転部に触れると、火傷します。また手指・髪の毛・衣服などが巻き込まれ、大きな事故の原因となります。

注意




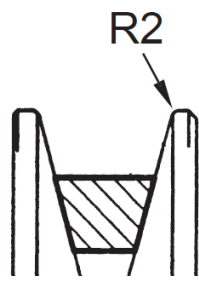
	高温になっている製品本体や周囲の装置には手を触れないでください。 稼働中や運転直後は高温になりますので、手で触ると火傷します。		変速ハンドルを持って運搬しないでください。 変速ハンドルを持って運搬すると、モータ軸の変形やベアリングが損傷する恐れがあります。また製品が落下してけがの原因となります。
	重い製品を無理に持たないでください。 悪い姿勢で作業しないでください。 重量がある製品の運搬や工具類を扱うときなど力を入れて作業する場合、または製品を機械に組み込むときの無理な姿勢は、身体に負担がかかる恐れがあります。		製品を取り扱うときは安全めがねや手袋などの保護具を着用してください。 軸のキー溝など鋭利な部分でけがをする恐れがあります。またプーリやベルトに手指がはさまれないように注意してください。

2-2. 製品仕様の注意事項

	悪影響をおよぼす環境では使用できません。 使用雰囲気温度は-10～+40℃、湿度は85%以下です。 少量でも水や油や薬品がかかる、腐食性が強い、極度な高温低温、ほこりがかかる、結露する、風雨にさらされる、大きな振動・衝撃がかかる場所などは、製品の損傷や性能劣化の原因となります。		廃棄は依頼するか法規にもとづいて処分してください。 製品の廃棄は専門業者に依頼するか、もしくはお客様が自分で廃棄される場合は法律や地域の条例に従い廃棄してください。 また幼児が遊ぶ場所や公共の場所に捨てたり放置しないでください。
---	---	---	--

	製品の分解・改造・追加加工などは絶対にしないでください。		変速プーリが停止中は変速操作をしないでください。
	お客様が独断で製品の分解・改造・追加加工を行った場合、さらにそれが要因で製品の損傷や性能劣化またはけがや事故が生じた場合、弊社は品質保証および損害補償をいたしません。		変速プーリが停止中に変速操作を行うと、本製品のベルト、プーリ、ベアリングなどに無理な荷重がかかり故障の原因となります。



2-3. 取り付け前の注意事項

	プーリは絶対に叩かないでください。		軸への取り付けは確実に行ってください。
	製品の故障や破損の原因となります。やむを得ず変速機を叩くときは、プーリ端に当てをかって軽く打ち込んでください。		締め付けや固定が弱いと、不意に製品がずれる、はずれる原因となります。なお締め付けトルクが決められている場合は、それに従ってください。
	モータ軸への取り付けに注意してください。		
	P・PL・PK・PF型は、モータ軸に直接取り付けで使用します。なおAP型とP型を組み合わせる場合は、AP型をモータ軸に取り付けてください。		

注意 ● 従動プーリのV溝に約R2の面取りを設けると、ベルトの耐久力が増します。


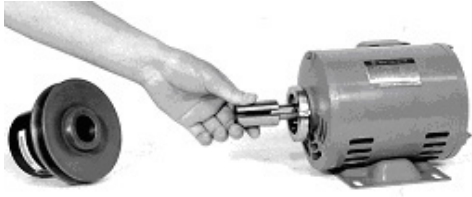

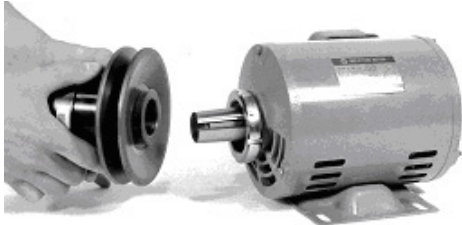





3-1. 取り付け (P・AP型：アダプタを採用)

(1) 準備

アダプタ式を取り付ける時、本体の他に軸径に合ったアダプタとPナットが必要です。 ※アダプタをテーパスリーブと呼ぶこともあります。	取り付けには次の工具が必要です。 ◆ 引っ掛けスパナ (またはドライバー大) ◆ ハンマー ◆ ドライバー小
	

(2) 取り付け方法

- 注意** ● AP型とP型を組み合わせる場合は、AP型を駆動軸(モータ軸)に、P型を従動軸に取り付けてください。
- 注意** ● AP型を取り付けの際は、必ず付属の回り止め支えにてAP型の回り止めロット部を固定してください。
 なお付属の回り止め支えを使用できない場合には、回り止めが無理なくスライドできるように固定してご使用ください。
- 注意** ● 機械に取り付けて使用する際には、必ず保護カバーを設置してください。

<p>1. Pナットを入れる。</p> 	<p>2. アダプタを入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キーがアダプタより高く出る場合は削ります。 ● アダプタにはモータ軸に付いているキーがそのまま使用できるように「キーのための割り」が入っています。 ● 型式P-164、P-218、AP-164は、付属のLキーをご使用ください。  
<p>3. 本体を入れる。</p> 	<p>4. Pナットを手で、出来るだけ強く締める。</p>  <p>5. 引っ掛けスパナまたはドライバー大を使用し、前記の位置よりさらに 2/5～3/5 回まわして締め付ける。</p>   <p>6. 最後にPナットのゆるみ止めねじをマイナスのドライバーで締め付けて、取り付けが完了です。</p>   <ul style="list-style-type: none"> ● どちらの方法で締め付ける場合でも、一人がプーリ外径をしっかりおさえ、もう一人がハンマーにより締め付けるという方法が最適です。

(3)取りはずし

取り付け方法の⑥から逆の順に行ってください。

3-2. 取り付け (PL・PK・PF型：ストレート穴を採用)

注意 ● 機械に取り付けて使用する際には、必ず保護カバーを設置してください。

取付穴はストレート穴になっています。軸との結合はキーと止ねじによって行います。変速機を軸に取り付けるとき、プーリを叩くことは避けてください。

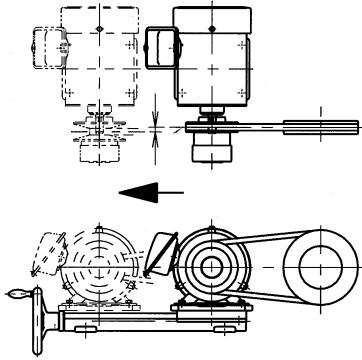
軸に完全に入りましたら、止めねじを締め付けます。止めねじが移動車がかくれて外から見えない時は、ベルトを利用してプーリを開くと現れます。また軸にあらかじめ平取りをしておくと、取りはずしが容易になります。

4. ベルト走行線の合わせ方

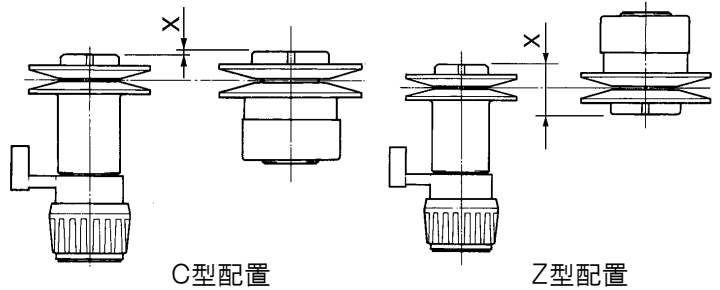
注意 ● ベルト走行線を一定に保つように調整を行ってください。

4-1. P・AP、PL型(標準Vベルト仕様)の場合

- (1) 通常は最高回転数位置で取り付けてください。
- (2) 使用する回転数が決まっているときは、その近辺でベルトの走行線を合わせると、ベルトが長持ちします。



P型、PL型



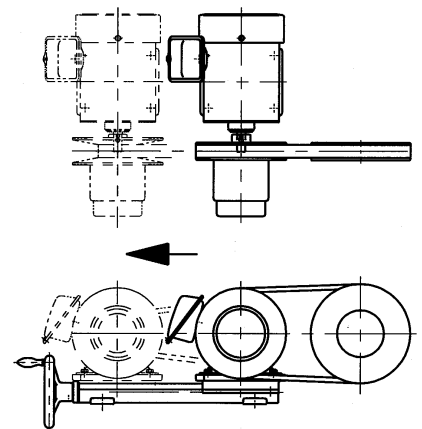
AP型とP型の組み合わせ

【AP型とP型の組合せにおけるベルト走行線X寸法一覧表】

組み合わせ	AP86 P86	AP86 P98	AP98 P98	AP98 P124	AP124 P124	AP124 P164	AP164 P164	AP164 P218
C型配置	0	1	0	3	0	3	0	1.5
Z型配置	39.5	40.5	41.5	44.5	49	52	57	58.5

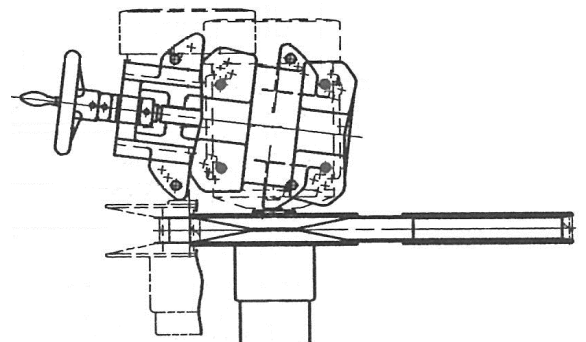
4-2. PF型(変速ベルト仕様)の場合

- (1) PF型はプーリが両開きです。ベルトの走行線は、低速か高速で合わせてください。
- (2) PF型は機構上、垂直軸への取付けは避けてください。



4-3. PK型(変速ベルト仕様)の場合

- (1) PK型はプーリが片開きです。
ベルトの走行線は、平行移動させてしまうとずれてしまいます。
そこでPK型には「モータ移動台のRK型」をご使用ください。
- (2) モータ移動台のRK型を使用して、あらかじめPK型を角度を持たせて取付けることで、軸間距離の伸縮とプーリの進退とを同時に行えるので、ベルト走行線のずれを補正することができます。



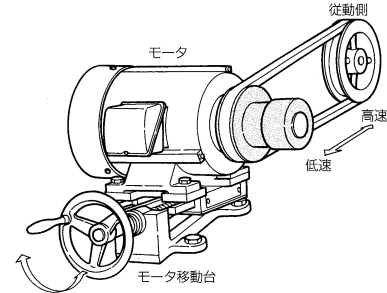
5. 操作・運転

5-1. 運転確認(全機種)

- (1) まず無負荷で運転を行い、装置全体の運転状況を確認してください。
- (2) 運転状況に異常がなければ徐々に負荷を増やし、全負荷運転を行い、次の点を確認してください。
 - ① 異常な振動・騒音が発生していないか。
 - ② 電流値がモータ銘板記載の定格電流値を超えていないか。
 - ③ 減速機・モータフレーム表面の温度が異常に高くないか。
- (3) 異常が認められた場合、運転を止め、ご購入された販売店または弊社までご連絡ください。
- (4) 長期にわたって運転されていなかった場合は、プーリ面のさびやベルトの点検をしてください。

5-2. 変速操作(P・PL・PK・PF型の場合)

- (1) モータ軸に直接取り付けて使用するので、変速操作はモータを移動させて軸間距離を変えて行います。
モータを移動させて機械側に近づけると高速、遠くすると低速になります。
- (2) 運転停止中は変速操作をしないでください。
- (3) 回転方向は左右どちらでもかまいません。ただし正転と逆転を繰返し行う場合は、運転停止後に行ってください。
- (4) P・PL型は、正転と逆転を繰返し行う運転は避けてください。
- (5) モータを移動させて軸間距離を変えるには、モータ移動台(R・RK型)をご使用ください。
- (6) 低速時にベルトが張りすぎたり、高速時にプーリ外径からベルトが飛び出したりしないように、モータ移動台にストッパーをセットしてください。



5-3. 変速操作(AP型の場合)

- (1) 変速操作は軸間距離を変えずに行いますので、AP型のハンドルを左右に回してください。
- (2) 運転停止中は変速操作をしないでください。
- (3) 回転方向は左右どちらでもかまいません。
ただしAP型はP型と組合わせて使用するので、正転と逆転を繰返し行う運転は避けてください。

6. 保守・点検

6-1. 日常点検

- (1) P・AP型は無給油タイプです。
PL・PK・PF型は給油タイプです。定期的(1~6ヶ月)に給油を行ってください。
なおプーリ摺動部の油膜切れを防ぐために、週一回程度高速から低速へ数回変速させてください。
- (2) 給油はグリースニップルよりグリースガンにて給油してください。(グリースは下表参照)

6-2. 使用グリース一覧

一般用グリース(万能グリース)

周囲温度	-15~5℃	5~40℃
JISちょう度	1号	2号

7. 簡易自己診断

下表のような現象が生じた場合は、その推定される要因の確認と対策をご検討いただくことで解決する可能性があります。お問い合わせされる前に、もう一度ご確認願います。

現象		要因	対策
異常発熱する (プーリ・ベルトの発熱)		ベルトの張りすぎ	軸間距離を短くする
		過負荷運転	規定の負荷まで下げる
		ベアリング焼損	交換する
		油膜切れ	洗浄・給油
異常音がる (連続的騒音)		ベアリング焼損	交換する
		摺動部油膜切れ	給油する
		摺動部フレッティング	変速プーリ交換
速度	回らない	ベルト切れ	交換する
		ベアリング焼損	交換する
	変速できない	油膜切れ	洗浄・給油

三木プーリ株式会社

<http://www.mikipulley.co.jp/>

取扱説明書のお問い合わせは、弊社ホームページ、下記のフリーアクセス、お近くの弊社支店・営業所へご連絡ください。
TEL 0800-800-1311 (フリーアクセス)

※取扱説明書は予告なく内容を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※製品の不具合につきましては、購入先もしくはお近くの弊社支店・営業所へご連絡ください。

※製品の仕様・性能につきましては、「製品カタログ」をご覧ください。

ベルト式無段変速機 PDSシリーズ（ユニット）

（ダブル バリアブルピッチ プーリ ユニット）
PDC型・PDG型

取扱説明書

製品のご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

1. はじめに	P 1
2. 安全上のご注意	P 1
3. 仕様	P 4
4. 設置	P 6
5. 操作・運転	P 7
6. 分解・組立	P 8
7. 保守・点検	P 8

1. はじめに

1-1 開梱されましたら

まず、次の点をお調べ下さい。

- (1) ご注文のものかどうかお確かめください。
- (2) 輸送中の事故で破損していないかお確かめください。

以上について、万一不具合な点がございましたら、お買い求めの購入先にお問い合わせください。

2. 安全上のご注意

製品のご使用に際しては、本取扱説明書やその他技術資料等を良くお読みいただくとともに、安全に対して十分に注意を払い正しくお取り扱いください。



またこの取扱説明書は必要なときに取り出して読めるよう大切に保管し、必ず最終需要家までお届けいただくようお願いいたします。

なおこの「安全上のご注意」は予告なく改訂・変更する場合がありますのでご了承ください。




この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分し、警告図記号で取扱いの行為について具体的に表示をしております。

なおランクを「注意」として記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しておりますので必ずお守りください。

【安全注意事項のランク】

 危険	使用者が取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い場合を示します。
 注意	使用者が取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される場合を示します。




【警告図記号の説明】

 禁止	製品の取扱いにおいて、その行為を禁止することを示します。
 注意	製品の取扱いにおいて、注意を喚起することを示します。
 指示	製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制することを示します。




製品の故障、誤動作が、直接人命を脅かしたり、人体に危害をおよぼすおそれがある装置（原子力用、航空宇宙用、医療用、交通機器用、各種安全装置用等）に本製品を使用する場合は、都度検討が必要となりますので、弊社営業窓口まで事前にお問い合わせください。本製品は品質管理には万全を期していますが、万一の故障などに備え、機械側の安全対策には十分ご配慮ください。

危険



「構造上の注意事項」

	動作中の本製品に手や指を触れるとけがの原因となります。危険防止のため必ず安全カバーを設置してください。また、安全カバーを開けた時には、ただちに本製品が停止するように必ず安全機構を設置してください。
	引火・爆発の危険がある油脂・可燃性ガス雰囲気などでは、絶対に使用しないでください。
	埃・高温・結露・風雨にさらされる所には使用しないでください。また、振動・衝撃がかかる場所にも直接取付けないでください。 製品の損傷・誤動作あるいは性能の劣化を招きます。

「設置時の注意事項」

	モータフレームのアイボルトは、モータ運搬専用のため十分な強度はありません。絶対にモータフレームのアイボルトは使用しないでください。
	モータのアース端子（E）は、必ず接地してください。 接地の方法は、第三種接地（100Ω以下、φ1.6mm以上）を推奨します。
	使用する電線サイズは電源容量にあったものを使用してください。 電源容量の少ない電線を使用すると、絶縁被覆が溶け絶縁不良となり、感電・漏電のおそれがあるほか、火災の原因となることがあります。

「運転中の注意事項」

	通電中の端子台やリード線に触れると感電の恐れがありますので、絶対に手を触れないでください。
	回転体に手を触れると手や指が巻き込まれます。やむを得ず、回転体に触れる場合は、電源が切れていることおよび回転体が停止していることを必ず確認してください。

⚠ 危険

「保守・点検時の注意事項」



保守点検する際、誤って駆動部が作動すると装置に巻き込まれるなど非常に危険な状態となりますので装置の電源は絶対に入れないでください。必ず、装置の主電源が切れていることを確認してから行なってください。

「廃棄時の注意事項」



幼児が遊ぶ可能性のある場所にみだりに放置されると、思わぬけがや事故を起こすおそれがあります。また廃棄するために分解された部品でも、同じようにけがや事故の原因となりますので、すみやかに廃棄処分をしてください。

⚠ 注意

「設置時の注意事項」



変速ハンドルや変速レバー、モータの引き出し線を持って運搬しないでください。モータ軸が変形したり、ベアリングが損傷することがあります。また製品の落下により足などをけがすることもありますので、絶対におやめください。

運搬時には、本体上部のアイボルトをご使用ください。



取付けは十分強度のあるボルトで確実に取付けてください。

取付けボルトの強度が不足していたり、締付けトルクが弱いと、不意に製品がずれたり外れたりします。



取付けは剛性の高い強固な床面又は取付け台に取付けてください。

取付け台の強度が不足していると、使用中に振動を起こしたり、騒音を発生させる場合があります。



床面に取付けるときは、基礎面を床面より幾分高くしてください。

基礎面が床面と同一ですと、埃や湿度により電動機の絶縁が劣化する可能性があります。



出力軸にスプロケット、ギヤを取付ける場合、オーバーハングロードに十分注意してください。許容オーバーハングロードを超えてご使用になりますと、出力軸折れや軸受け損傷等の事故につながります。



取付け後、減速機のエア抜き栓を抜いてください。エア抜き栓をつけたまま運転をしますと、減速機の内圧が上昇し、オイル漏れの可能性があります。

(給油栓が付属されている場合は交換してください。)



モータの配線は正しく確実に行ってください。

配線に不備があると感電・漏電・火災の原因になります。

「運転中の注意事項」



変速プーリなどの表面は、連続運転で高温になる場合があります、運転中の製品に手を触れるとやけどのおそれがあります。

運転直後に触れる場合は、注意してください。



運転中に異音や振動が発生した場合は、製品の取付不良等の可能性があります。

放置しておくと製品だけでなく、装置自体が破損するおそれがあります。ただちに運転を停止して点検を行なってください。



変速プーリが停止中は、変速操作は行わないでください。

変速プーリが停止中に変速操作を行うと、本機のベルト、プーリ、ベアリングなどに無理な荷重が掛かり、装置全体の故障の原因になります。

⚠ 注意

「保守・点検時の注意事項」



運転直後の製品の表面は、高温になっているおそれがあります。
やけど等の原因となりますので、運転直後は触れないでください。



プーリやベルトに手や指が挟まれないようにしてください。

「廃棄時の注意事項」



廃棄される場合は環境に悪影響をおよぼさないために、専門業者に廃棄を依頼してください。また専門業者に廃棄を依頼する前に、分解された部品や付属品、もしくは油などの処理を事前に行う場合には、法律や地域の条例などに従い廃棄してください。

3. 仕様

3-1 仕様表

(1) PDC型

型式	ユニット				変速機	
	モータ容量 4P (kW)	変速ベルト	変速比	質量 (kg)	型式	質量 (kg)
PDC-02N	0.2	1022V220	1:4	20	AK-90-MA-11	1.3
					PE-106-MA-12H	1.6
PDC-04N	0.4	1422V270	1:3.5	30	AK-124-MA-14N	2.4
					PE-124-MA-15H	2.2
PDC-07N	0.75	1422V270	1:4	39	AK-140-MA-19N	2.8
					PE-155-MA-18H	4.0
PDC-15N	1.5	1922V298	1:4	54	AK-155-MA-24N	3.7
					PE-185-MA-22H	6.0
PDC-22N	2.2	2322V364	1:4.5	60	AK-185-MA-28N	5.4
					PE-216-MA-25H-78KG	10
PDC-37N	3.7	2322V396	1:3	74	AK-216-MA-28N	6.9
					PE-216-MA-30H-96KG	10

(2) PDG-□BSN型

(△:減速比、○:形状)

型式	ユニット				変速機		減速機		
	モータ容量 4P (kW)	変速ベルト	変速比	質量 (kg)	型式	質量 (kg)	型式	減速比	質量 (kg)
PDG-02BSN	0.2	1022V220	1:4	21	AK-90-MA-11	1.3	N-PA-12-△○		6.3
					PE-106-MA-12H	1.6			
PDG-04BSN	0.4	1422V270	1:3.5	33	AK-124-MA-14N	2.4	N-PA-15-△○		8.4
					PE-124-MA-15H	2.2			
PDG-07BSN	0.75	1422V270	1:4	50	AK-140-MA-19N	2.8	N-PA-18-△○	1/10 1/20 1/30	13.7
					PE-155-MA-18H	4.0			
PDG-15BSN	1.5	1922V298	1:4	70	AK-155-MA-24N	3.7	N-PA-22-△○	1/40 1/50 1/60	19.7
					PE-185-MA-22H	6.0			
PDG-22BSN	2.2	2322V364	1:4.5	91	AK-185-MA-28N	5.4	N-PA-25-△○		39.9
					PE-216-MA-25H-78KG	10			
PDG-37BSN	3.7	2322V396	1:3	139	AK-216-MA-28N	6.9	N-PA-30-△○		63.2
					PE-216-MA-25H-78KG	10			

(3) 減速機違いによるユニット

PDG-□PON

(△: 減速比、○: 形状)

型式	変速ベルト	減速機		
		型式	減速比 △	質量 (kg)
PDG-02PON	1022V220	N-P0-12-△-○-○○	1/10 1/20 1/30 1/40 1/50 1/60	6.3
PDG-04PON	1422V270	N-P0-15-△-○-○○		8.4
PDG-07PON	1422V270	N-P0-18-△-○-○○		13.7
PDG-15PON	1922V298	N-P0-22-△-○-○○		19.7
PDG-22PON	2322V364	N-P0-25-△-○-○○		39.9
PDG-37PON	2322V396	N-P0-30-△-○-○○		63.2

PDG-□WAN 高減速比

(△: 減速比、○: 形状)

型式	変速ベルト	減速機		
		型式	減速比 △	質量 (kg)
PDG-02WAN	1022V247S	N-2PWA-△-○-PD02	1/100, 1/150, 1/200, 1/300, 1/400 1/500, 1/600	33
PDG-04WAN	1422V270S	N-2PWA-△-○-PD04	1/100, 1/150, 1/200, 1/300, 1/400	40
	1422V300S	N-3PWA-△-○-PD04	1/500, 1/600	55.5
PDG-07WAN	1422V330S	N-3PWA-△-○-PD07	1/100, 1/150, 1/200, 1/300, 1/400	66.5
		N-4PWA-△-○-PD07	1/500, 1/600	89.5
PDG-15WAN	1922V363S	N-4PWA-△-○-PD15	1/100, 1/150, 1/200, 1/300, 1/400	94
	1922V381S	N-5PWA-△-○-PD15	1/500, 1/600	126
PDG-22WAN	2322V421S	N-5PWA-△-○-PD22	1/100, 1/150, 1/200, 1/300, 1/400	138.5

PDG-□DAN 高減速比

(△: 減速比、○: 形状)

型式	変速ベルト	減速機		
		型式	減速比 △	質量 (kg)
PDG-02DAN	1022V220	N-PDA-22-△-○	1/200, 1/300, 1/400, 1/500, 1/600 1/800/900, 1/1000, 1/1200, 1/500 1/1600, 1/1800/2000, (1/2500) (1/2500 : 15Kwのみ)	45
PDG-04DAN	1422V270	N-PDA-25-△-○		74.5
PDG-07DAN	1422V270	N-PDA-30-△-○		149.5
PDG-15DAN	1922V298	N-PDA-35-△-○		139
PDG-22DAN	2322V364	N-PDA-40-△-○	1/100, 1/150, 1/200, 1/250, 1/300, 1/400, 1/500, 1/600, 1/800, 1/900, 1/1000, 1/1200	223
PDG-37DAN	2322V396	N-PDA-45-△-○		1/500, 1/1600, 1/1800/2000, 1/2500

PDG-□DON 高減速比

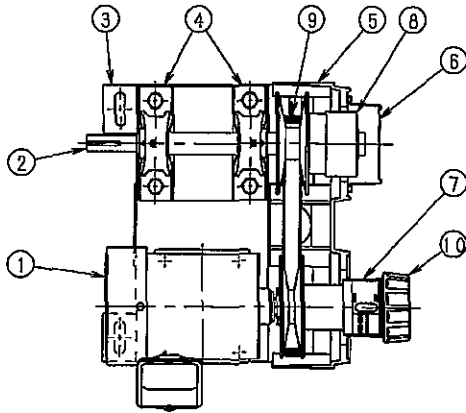
(△: 減速比、○: 形状)

型式	変速ベルト	減速機		
		型式	減速比 △	質量 (kg)
PDG-02DON	1022V220	N-PDO-22-△-○	1/200, 1/300, 1/400, 1/500, 1/600 1/800, 1/900, 1/1000, 1/1200, 1/500 1/1600, 1/1800/2000	44
PDG-04DON	1422V270	N-PDO-25-△-○		70.5
PDG-07DON	1422V270	N-PDO-30-△-○		106.5
PDG-15DON	1922V298	N-PDO-35-△-○		118
PDG-22DON	2322V364	N-PDO-40-△-○		196.5
PDG-37DON	2322V396	N-PDO-45-△-○		284

* 型式が表現しきれない減速機もあるため詳細はお問い合わせ下さい。

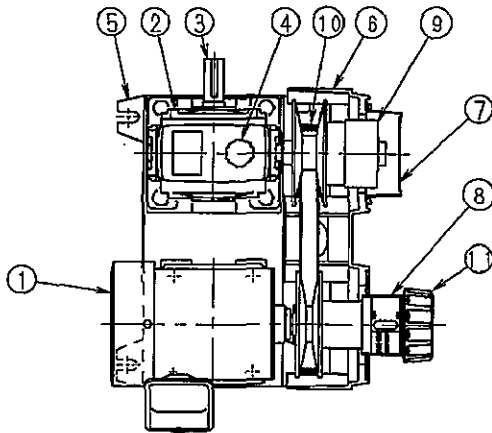
3-2 構造図

(1) PDC-□型



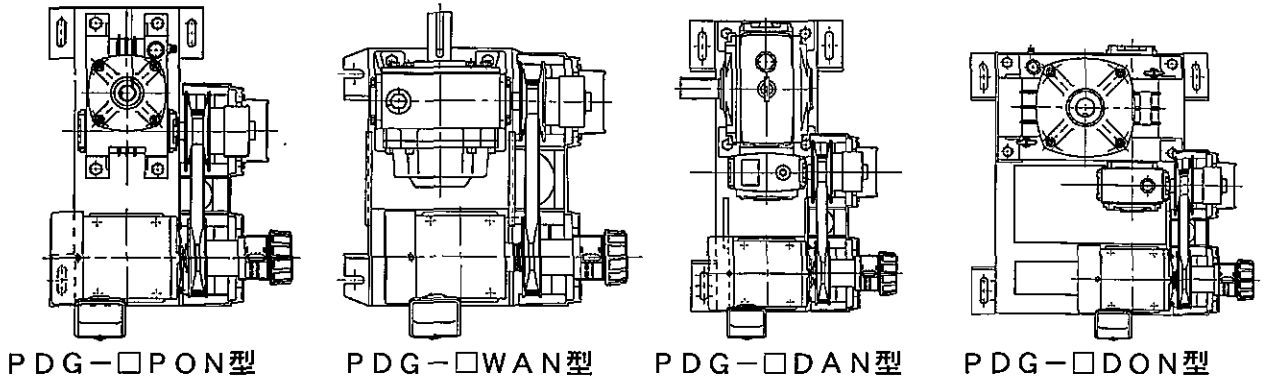
No.	名称	No.	名称
1	モータ	6	キャップB
2	出力軸	7	AK型変速機
3	ベルト	8	PE型変速機
4	ピローブロック	9	変速ベルト
5	カバー	10	ハンドル

(2) PDG-□BSN型



No.	名称	No.	名称
1	モータ	7	キャップB
2	減速機	8	AK型変速機
3	出力軸	9	PE型変速機
4	給油栓	10	変速ベルト
5	ベルト	11	ハンドル
6	カバー	12	--

(3) 標準型：減速機違い。



4. 設置

4-1 設置場所

- (1) 周囲温度 …… 10~40℃
- (2) 雰囲気 …… 腐食性ガス・爆発性ガスなどが無く、又、蒸気、水、油などがかかる場所は避けて下さい。
塵埃を含まない換気の良い場所であり、又、引火・爆発の危険がある雰囲気では使用しないでください。
- (3) 設置場所 …… 屋内であること。また強固な台に十分な強度を持つボルトで固定すること。

4-2 設置・取付け方法

- (1) 重量物を運搬・設置の際はホイスト等を利用し、その際は、ハンドルを持って運搬しないで下さい。
- (2) 製品の上に物を載せないで下さい。
- (3) 取付けは床面に、取付け台は振動しないようにして下さい。
- (4) 床上にとり取付ける際は、基礎面を床面より高くして、吸湿を避けるようにして下さい。
- (5) ボルトおよびネジの締め付けは、確実に行ってください。取付けが不相当ですと、使用中の振動発生の原因にもなりますので、十分強度のあるボルトで確実に取付けて下さい。
- (6) 出力軸にスプロケット、ギヤー等を取付ける場合は、オーバーハングロードに十分注意して下さい。
- (7) 出力軸と相手機械を直結する場合は、たわみ軸継ぎ手を使用の上、軸芯をよく合わせて下さい。
- (8) 取付け後、減速機の給油栓に付いているエアキャップを抜いて下さい。

5. 操作・運転

5-1 操作・運転

- (1) ハンドルを右に回す（時計方向）と低速、左に回す（反時計方向）と高速になります。
- (2) 目盛シールを主尺に、ハンドルの目盛版を副尺としてお読み下さい。
- (3) 変速機回転停止中に、ハンドルを回さないで下さい。
- (4) 出力回転方向はどちらでもかまいません。
- (5) 正・逆転を行う場合は、変速機の停止後に行ってください。
- (6) 減速機歯車の噛合面になじみを与える為、低速より徐々に高速にしながらの「なじみ運転」をお勧めします。
- (7) 長期にわたって運転されなかった場合は、変速機、ベルトの点検を行ってください。



5-2 運転

- (1) 試運転は、本機単体で行う無負荷運転と、相手機械に取付けて行う負荷運転を行ってください。
- (2) ハンドルを回して異常振動や異常音の有無を確認して下さい。
- (3) 出力回転数を確認してください。

- ① 出力軸最高回転数 = (AK最大ピッチ径 × 入力回転数 / PE最小ピッチ径) × 減速比
- ② 出力軸最低回転数 = (AK最小ピッチ径 × 入力回転数 / PE最大ピッチ径) × 減速比
減速機付きユニットの場合のみ、減速比を掛けてください。
- ③ 適正入力回転数 = 1500 ~ 1800 (min⁻¹)

型式	AK		PE	
	最大ピッチ径	最小ピッチ径	最大ピッチ径	最小ピッチ径
PDS-02	85	34.5	101	54.5
PDS-04	114	58	118	63
PDS-07	135	58	150	77
PDS-15	148	60	178	100
PDS-22	178	70	208	112
PDS-37	200	110	208	120

- (4) 運転状況に異常がなければ、除々に負荷を増やし、全負荷運転を行い、次の点を確認して下さい。

- ① 異常な振動・騒音が発生していないか。
- ② 電流値がモータ銘板記載の定格電流値を超えていないか。
- ③ 減速機・モータフレーム表面の温度が異常に高くないか。

- (5) 負荷運転時に本機を最高速に設定し、負荷がモータ容量以内にあるか電流値で確認して下さい

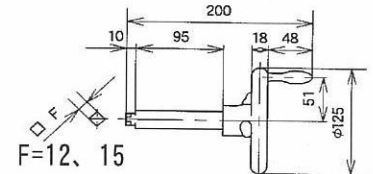
- ① 異常が認められた場合運転を止め、ご購入された販売店、または弊社までご連絡下さい。
- ② 長期にわたって運転されていない場合は、プーリ面の錆やベルト点検をして下さい。

- (6) 微調整・位置合せを行う際に、オプション品「停止時調整ハンドル」を使用する方法があります。（右図）

- ① 機械停止時に、穴ブッシュ仕様の従動側変速機に差込み使用します。
- ② 「停止時調整ハンドル」は別販売品です。

【注意】

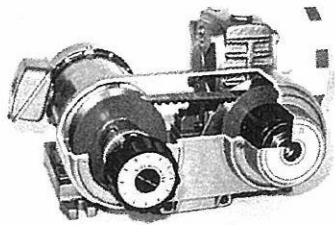
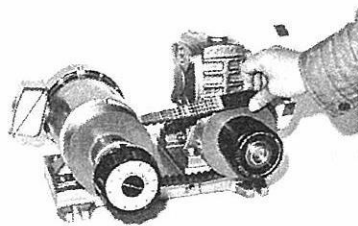
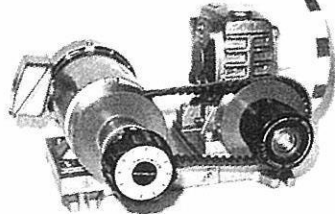
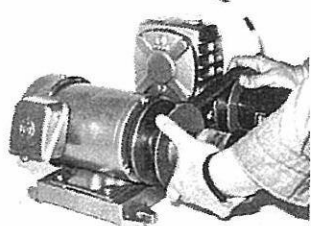
- ① 整ハンドルを差込んだまま運転しないでください。
 - ② 停止時のみの調整用としてください。
- *他のオプション品に関しては、お問い合わせください。



モータ容量 (kW)	型式
0.2、0.4	TH-125-12
0.7、1.5、2.2、3.7	TH-125-15

6. 分解・組立

変速ベルトの取り付け、取り外し方

変速ベルトの取り外し方	変速ベルトの取り付け方
<p>(1) 変速機を最高速にしてモータを停止させる。</p> 	<p>(1) AK型のハンドルを右にいっぱい回しプーリを開かせ、新しい変速ベルトをAK型に掛ける。 (プーリ面に錆などがある場合、プーリ面を綺麗にする)</p> 
<p>(2) モータを停止後、AK型のハンドルを右方向にいっぱい回しプーリを開かせ変速ベルトをたるませる。</p> 	<p>(2) AK型に新しい変速ベルトをかけた後、PE型に変速ベルトをななめにかける。</p> 
<p>(3) PE型よりプーリを回しながら変速ベルトを外す。</p> 	<p>(3) 両プーリを手で回しながら変速ベルトを掛ける。</p>  <p>(7) クラッチのリード線を結線する。 (8) AK型、PE型の回り止めが所定の位置なるように注意し、カバーを取り付けて下さい。 (9) 無負荷で試運転を行ってください。</p>

7. 保守・点検

7-1 日常点検

- (1) 変速機を長持ちさせるため、以下のことにご配慮ください。
- (2) 変速機摺動部の油膜切れを防ぐため、低速から高速に数回変速させて下さい。(1ヶ月に1回程度)
- (3) 定期的(1年毎)にオーバーホールを行い、グリースニップルよりグリースを補給すると長持ちします。
- (4) 変速ベルトの異常磨耗について確認してください。
- (5) PE型には、強力なスプリングが内臓しておりますので、分解はしないでください。
- (6) 減速機ギヤ油は定期的に交換してください。(1回目は100時間、2回目以降は2000時間毎)

7-2 使用グリース一覧 (AK型、PE型用)

一般用グリース (万能グリース)

周囲温度	-10~5℃	5~40℃
JISちょう度	1号	2号
新日本石油 (ENEOS)	マルチノックグリース1号	マルチノックグリース2号
出光興産	ダフニーエポネックスグリース1号	ダフニーエポネックスグリース2号
J・エナジー (JOMO)	リゾニックスグリース1号	リゾニックスグリース2号
コスモ石油ルブリカンツ	コスモグリースダイナマックス1号	コスモグリースダイナマックス2号
昭和シェル石油	アルバニアSグリース1号	アルバニアSグリース2号

7-3 減速機ギヤ油一覧 (PDG用)

荷重	普通荷重		高荷重	
	周囲温度		周囲温度	
	-10~5℃	5~40℃	-10~5℃	5~40℃
JIS ちょう度 (JIS K2219)	ギヤ油 工業用 2種 ISO VG150	ギヤ油 工業用 2種 ISO VG320	ギヤ油 工業用 2種 ISO VG320	ギヤ油 工業用 2種 ISO VG460
新日本石油	ホソノックM150	ホソノックM320	ホソノックM320	ホソノックM460
コスモ石油/リオン	コスモギヤ-SE150	コスモギヤ-SE320	コスモギヤ-SE320	コスモギヤ-SE460
昭和シェル石油	シェルオマラオイル150	シェルオマラオイル320	シェルオマラオイル320	シェルオマラオイル460
出光興産	ダブニス-バ-ギヤオイル150	ダブニス-バ-ギヤオイル320	ダブニス-バ-ギヤオイル320	ダブニス-バ-ギヤオイル460
ジャパニエッジ-	JOMOLダブタス150	JOMOLダブタス320	JOMOLダブタス320	JOMOLダブタス460

7-5 診断の手引き

項目	状態		原因	対策
モータ	熱	異常発熱する	開閉器の容量不適	交換する
			電圧降下	電力会社に連絡する。
			過負荷運転	規定の負荷まで下げる
			始動頻度が多い	始動回数を減らす。
	音	異常音がする	ゴミによる冷却低下	清掃する。
			電気関係でヒューズ断線	交換する
			接触不良、一相断線	接触部を調整する
	速度	速度が低下停止する	ベアリングの損傷	交換する
			電圧降下	電力会社に連絡する。
過負荷運転			規定の負荷まで下げる	
変速機・変速ベルト	熱	異常発熱する	ベルトの張りすぎ	軸間距離を適正値にする
			過負荷運転	規定の負荷まで下げる
			ベアリング焼損	交換する
	音	異常音がする (連続的騒音)	ベアリング焼損	交換する
			摺動部油膜切れ	給油する
			摺動部フレットイング	変速プーリ交換
	速度	回らない 変速できない	ベルト切れ	交換する
			停止中に変速した	変速ハンドルを左に回す
			油膜切れ	洗浄給油
減速機	熱	異常発熱する	ベアリング焼損	交換する
			過負荷運転	規定の負荷まで下げる
			ギヤ油の過少または過多	湯面計の指示に合わせる。
			ギヤ油の不良 または、不適当	老化、汚染したものは取り替える 適正な油に変更
	音	異常音がする 異常振動がする	ギヤ油が漏れる	漏洩箇所を特定し、修理、交換等を行う。 所定の油量を補充し、栓を完全に締める。
			金属音がする	ギヤ油補給
	環境	油污れて臭いがする 床面が汚れる	異物の混入	異物除去、ギヤ油を取り替える
			オイルシールの破損 エア抜きが不完全	交換する。

三木プーリ株式会社

<http://www.mikipulley.co.jp/>

製品に関するご質問は、下記の窓口へお問い合わせください。

本社営業部 〒211-8577 神奈川県川崎市中原区今井南町 461
 東京支店 〒120-0001 東京都足立区大谷田 4-1-2
 名古屋支店 〒462-0044 愛知県名古屋市北区元志賀町 2-10
 大阪支店 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-3-23

TEL 044-733-5151 (代)
 TEL 03-3606-4191 (代)
 TEL 052-911-6275 (代)
 TEL 06-6385-5321 (代)

※製品の仕様・性能につきましては「製品のカタログ」をご覧ください。
 ※予告なく内容を変更することがありますので、予めご了承ください。